

Mistralと日本主要AI企業の比較レポート

エグゼクティブサマリー

本調査の結論を先に言うと、フランスのMistral AI ¹ は、直近2年で「欧州の主権AI」を掲げる研究開発会社から、**基盤モデル、企業向けチャット、OCR/Document AI、エージェント、クラウド実行基盤**を束ねた総合AIプラットフォーム企業へ急速に進化した。2025年9月には17億ユーロの資金調達で評価額117億ユーロに到達し、2026年3月には8.3億ドルの負債調達でパリ近郊データセンター向けに13,800基のNVIDIA GPU調達を進め、同年2月にはクラウド企業Koyeb ² の買収にも踏み切った。売上高の公式開示はないが、2025年5月時点で**企業向けLe Chat投入後100日で売上が3倍**、ロイターは前年売上を約3,000万ドルと報じており、研究主導から商用化局面へ移ったことは明確だ。 ³

日本企業と比べると、Mistralに最も近いのは研究色の強いSakana AI ⁴ と、自前基盤モデルを持つPreferred Networks ⁵ である。一方、ABEJA ⁶、PKSHA Technology ⁷、HEROZ ⁸、Rist ⁹ は、基盤モデル競争よりも**業務実装、AI SaaS、産業特化AI、検査・運用自動化**で強みを出している。したがって「研究・モデル層の厚み」ではMistralが先行し、「日本語・国内制度・現場適合」ではPFNや日本の応用企業群が優位、という二層構造で見るのが妥当である。 ¹⁰

Mistralの最近の状況

Mistralは2023年創業で、CEOのArthur Mensch ¹¹ が率いる欧州有数のAI新興企業である。2024年のMicrosoft ¹² 提携によりAzure配信を拡大しつつ、2025年には企業向けLe Chatと独自計算基盤を前面に出し、2025年9月にはASML ¹³ 主導で17億ユーロを調達、ASMLは約11%を保有する最大株主となった。2026年3月には追加で8.3億ドルのデットを起こし、GPU確保と自前DC整備へ踏み込んでいる。これは「欧州の独立AI」を標榜しながら、実際には**クラウド配信、資本、半導体供給**を同時に押さえにいくフェーズに入ったことを意味する。 ¹⁴

顧客面でも、Mistralの公式事例にはStellantis ¹⁵、CMA CGM ¹⁶、BNP Paribas ¹⁷、HSBC ¹⁸ などの大企業・金融機関が並び、官公庁ではフランス国防省や欧州特許庁、各国政府案件まで広がっている。つまりMistralは「研究所」ではなく、**欧州版OpenAI/Anthropicを目指すB2B・公共セクター企業**として位置づけるべきだ。 ¹⁹

規制・倫理面では、ヘルプセンター上で**EU域内複数ゾーン保存、暗号化バックアップ、SOC 2報告書の提供、GDPR権利行使、DSA対応、Zero Data Retention**などを明示している。また2025年にはADEME等と共同でMistral Large 2のライフサイクル分析を公表し、学習・推論の環境負荷を開示した。欧州の「説明責任」要求を営業上の差別化に転換している点は、日本企業比較でも重要だ。 ²⁰

主要プロダクトと技術評価

Mistralの現在の製品群は、Docs上で**open-weightモデルと商用モデルの混成**として整理されている。直近2年だけでも、Mistral Large 2 (2024年7月)、Pixtral Large (2024年11月)、Mistral Small 3 / 3.1 (2025年1月/3月)、Mistral OCR (2025年3月)、Mistral Medium 3 (2025年5月)を投入し、その後もLarge 3、OCR 3、Devstral系へ拡張している。基盤モデル、視覚・文書理解、コード、音声転写を一気にそそえた速度は、日本企業群より明確に速い。 ²¹

技術的に見ると、**Mistral Medium 3**は企業実装向けの中核で、公式には**Claude Sonnet 3.7**の**90%以上のベンチ性能**を大幅に低コストで実現し、**入力0.4ドル／出力2ドル/100万トークン**、**4 GPU以上の自社環境にも載るとされる**。**Pixtral Large**は**124Bのopen-weightマルチモーダル**、**Mistral Large 2.1**は**123B級**、**Pixtral 12B**は**12B本体+400M視覚エンコーダ**、**128K文脈**で、Hugging FaceのモデルカードとarXiv論文が公開されている。**Mistral OCR**は**1 GPUで毎分最大2,000ページ処理**、選択的セルフホストも可能で、企業の文書AI案件に直結する。^{[^a] 22}

公表ベースの技術比較チャート

| 企業 / モデル群 | 自社基盤モデル | 公開コード・重み | 公表性能指標の出し方 | 読み取り |
|------------------------------|------------|------------------------|------------------------|-----------------------------------|
| Mistral | あり | open-weightと商用の併用 | ベンチ・価格・デプロイ条件をかなり明示 | 研究層と商用層の両方が最も進む ²³ |
| PFN | あり | GENIAC経由のOpen Modelsあり | 日本語性能、翻訳品質、BFCL V3等を公表 | 日本語・オンプレ・エッジで強い ²⁴ |
| Sakana AI | 研究色が強い | 論文・コード公開が目立つ | 論文採択・研究成果中心 | 単一商用基盤モデルより研究新規性を優先 ²⁵ |
| ABEJA / PKSHA / HEROZ / Rist | 一部はLLM研究あり | 限定的または非中核 | 共通ベンチより導入件数・業務効果を訴求 | 競争軸は“モデル性能”より“現場成果” ²⁶ |

```

flowchart LR
  A[基盤モデル群] --> B[API / Studio]
  A --> C[Le Chat Enterprise]
  A --> D[Document AI / OCR]
  A --> E[コード・エージェント系]
  B --> F[企業導入]
  C --> F
  D --> F
  E --> F
  
```

企業別主要指標表

| 企業 | 創業/経営 | 主力領域 | 収益化の現在地 | 資本市場評価 | コメント |
|------------|---------------------------------------|-------------------------------|---|---|-------------------------------------|
| Mistral AI | Arthur Mensch ¹¹ | 基盤LLM、Le Chat、OCR、エージェント、配信基盤 | 企業向けLe Chatで売上3倍、前年売上推定3,000万ドル、最新値は非開示 | 2025年9月評価額 117億ユーロ 、2026年3月に 8.3億ドル の負債調達 | 欧州で最も“フルスタック化”が進むAI企業 ²⁷ |

| 企業 | 創業/経営 | 主力領域 | 収益化の現在地 | 資本市場評価 | コメント |
|--------------------|------------------------|---|-------------------------------------|---|---|
| Preferred Networks | 岡野原大輔 ²⁸ | PLaMo、AI半導体、計算基盤、産業AI | API、Chat、Bedrock、オンプレ、業界特化モデルで収益化 | 2024年末～2025年に 240億円超 調達、その後も追加調達額は非開示 | 日本で最もMistralに近い“自前スタック”型 ²⁹ |
| Sakana AI | David Ha ³⁰ | 進化計算、モデルマージ、AI Scientist | 研究成果の商用転用フェーズ、案件詳細は限定開示 | 2024年に 1億ドル超 調達、評価額詳細は不明だがロイターはユニコーンと表現 | 研究の尖りは強いが商用開示はまだ薄い ³¹ |
| ABEJA | 岡田陽介 ³² | ABEJA Platform、LLM実装、AIガバナンス、ロボティクス/VLA | 企業・公共向け実装案件が中心、GENIACも継続参画 | 上場企業。時価総額は約 290億円規模 、売上は数十億円台 | 基盤モデル競争より“ミッションクリティカル実装”に強い ³³ |
| PKSHA Technology | 上野山勝也 ³⁴ | PKSHA LLMS、AI Agents、FAQ/Voice/Helpdesk | AI SaaSとAIエージェントが中核、7,000体超のAgent稼働 | 上場企業。時価総額約 1,048億円 、2025年売上 167億円 | 研究会社というより、対話・業務自動化の量産企業 ³⁵ |
| HEROZ | 林隆弘 ³⁶ | HEROZ ASK、AI/DX、AI security、営業/採用支援 | 300超導入、SaaSの継続課金へ移行中 | 上場企業。時価総額約 130億円 、2025年売上 59.3億円 | マルチモデル連携の企業SaaSとして伸長中 ³⁷ |
| Rist | 長野慶 ³⁸ | 画像検査AI、排水監視、AIカメラ、受託研究 | 産業現場向けプロダクト/受託中心 | 非上場、評価額は不明。京セラ系グループ企業 | LLM競争ではなく製造・インフラ特化の実装力が武器 ³⁹ |

日本企業との構造的な差分

最大の差分は、Mistralが「モデル会社」から「AIインフラ会社」へ拡張している点だ。自社モデルをAPIで売るだけでなく、Le Chat Enterprise、OCR、Agents API、Koyeb買収、データセンター整備まで含めて、AI提供の上流から下流までをpushし始めている。日本でこれに近いのはPFNだけで、PFNはPLaMo、AI半導体MN-Core、計算基盤、業界特化モデルまでを縦に貫いている。Sakana AIは研究では鋭いが、現時点ではMistralほど商用プロダクト層が厚くない。⁴⁰

逆に、ABEJA・PKSHA・HEROZ・Ristは、Mistralのようなグローバル汎用基盤モデル競争ではなく、**日本語の商慣習、既存業務、現場データ、法務・ガバナンス、対面オペレーション**に深く入り込む戦い方を取っている。これは研究面で見劣りすることもあるが、導入責任や保守、RAG安全性、業務定着では強みになる。

特にPKSHAは対話AI・AIエージェントの量産、ABEJAは行政・防衛・ロボティクスのPoC/実装、HEROZは企業SaaSの高速改善、Ristは外観検査・社会インフラで差別化している。 ⁴¹

リスク、課題、今後の見通し

Mistralの最大の強みは、**欧州主権AI**という物語に、**実際の資本・顧客・製品を結び付け始めたこと**だ。しかし課題も大きい。第一に、計算資源と自前DC整備は極めて資本集約的で、OpenAIやAnthropicと同じく資本市場への依存を深める。第二に、Azure提携などで市場を取りつつも、主権AIを掲げる以上、米クラウド依存との緊張は残る。第三に、open-weight戦略は普及には有利だが、差別化と利益率の維持は難しい。第四に、規制上はEU当局の競争・AI法の監視が続く。 [^ab] ⁴²

見通しとしては、Mistralが今後も優位を保つ条件は、**大口企業顧客の継続課金化、OCR/Document AIの深耕、自前計算基盤の稼働、ASMLや金融機関案件の本格収益化**である。日本側では、研究・基盤モデルで距離を詰めうるのはPFNとSakana AI、売上与導入社数で稼ぐのはPKSHA・ABEJA・HEROZ、産業AIで堅いのはRistという構図が続きそうだ。したがって投資家・事業会社の観点では、**Mistralは「世界市場を狙う欧州フロンティアAI」、日本勢は「国内制度・産業現場を押さえる実装AI」**として評価軸を分けて見るべきである。 ⁴³

開示ギャップと限界

未上場企業であるMistral、PFN、Sakana AI、Ristは**詳細売上、利益、時価総額、研究人員数**の継続開示が限定的であり、比較可能性には限界がある。また日本企業の多くは、Mistralのように**同一ベンチマーク上の基盤モデル性能**を定常開示しておらず、比較は「公開性能値」よりも**モデル保有の有無、公開度、導入形態、商用KPI**に重心を置いた。したがって本レポートの比較は、**厳密なベンチ同一条件比較**というより、**企業戦略と技術スタックの比較**として読むのが適切である。 ⁴⁴

[^a]: Mistral Medium 3は公式に「**8X lower cost**」を掲げている。 ⁴⁵

[^ab]: ロイターは2025年5月に、企業版Le Chat投入後にMistralの売上が「**triples in revenue in 100 days**」と報じた。 ⁴⁶

¹ ²² ⁴⁵ <https://mistral.ai/news/mistral-medium-3>

<https://mistral.ai/news/mistral-medium-3>

² ²⁶ ³⁴ ³⁶ <https://www.abejainc.com/abejallmseries>

<https://www.abejainc.com/abejallmseries>

³ ⁵ ⁷ ¹¹ ¹⁷ ²⁷ ²⁸ ³⁸ <https://www.reuters.com/technology/mistral-ai-raises-17-billion-euros-asml-becomes-its-top-shareholder-2025-09-09/>

<https://www.reuters.com/technology/mistral-ai-raises-17-billion-euros-asml-becomes-its-top-shareholder-2025-09-09/>

⁴ ⁶ ¹³ ²¹ ²³ ⁴⁴ <https://docs.mistral.ai/models>

<https://docs.mistral.ai/models>

⁸ ¹⁰ ²⁴ <https://www.preferred.jp/en/business/genai>

<https://www.preferred.jp/en/business/genai>

⁹ ²⁵ <https://sakana.ai/evolutionary-model-merge/>

<https://sakana.ai/evolutionary-model-merge/>

¹² ³⁰ ³⁷ <https://heroz.co.jp/company/info/>

<https://heroz.co.jp/company/info/>

- 14 <https://www.reuters.com/technology/microsoft-partners-with-openais-french-rival-mistral-2024-02-26/>
<https://www.reuters.com/technology/microsoft-partners-with-openais-french-rival-mistral-2024-02-26/>
- 15 19 <https://mistral.ai/customers>
<https://mistral.ai/customers>
- 16 31 <https://sakana.ai/company-info/>
<https://sakana.ai/company-info/>
- 18 43 46 <https://www.reuters.com/technology/french-startup-mistral-launches-chatbot-companies-triples-revenue-100-days-2025-05-07/>
<https://www.reuters.com/technology/french-startup-mistral-launches-chatbot-companies-triples-revenue-100-days-2025-05-07/>
- 20 <https://help.mistral.ai/en/articles/347624-how-do-you-ensure-the-security-of-your-users-data>
<https://help.mistral.ai/en/articles/347624-how-do-you-ensure-the-security-of-your-users-data>
- 29 <https://www.preferred.jp/en/company/cofounders>
<https://www.preferred.jp/en/company/cofounders>
- 32 41 <https://www.pkshatech.com/news/20250407/>
<https://www.pkshatech.com/news/20250407/>
- 33 <https://www.abejainc.com/company>
<https://www.abejainc.com/company>
- 35 <https://www.pkshatech.com/company/people/>
<https://www.pkshatech.com/company/people/>
- 39 <https://www.rist.co.jp/>
<https://www.rist.co.jp/>
- 40 <https://docs.mistral.ai/resources/changelogs>
<https://docs.mistral.ai/resources/changelogs>
- 42 <https://www.reuters.com/sitemap/2026-03/30/2/>
<https://www.reuters.com/sitemap/2026-03/30/2/>